

新庄市で酒田港ポートセミナーが開催されました

1月16日（月）、新庄市で酒田港ポートセミナーが開催されました。

山形県が主催したこのセミナーは、県内や近県企業に酒田港をPRし、利用促進につなげることを目的として毎年行われているものです。18回目となる今回は、最上地域で初となる新庄市での開催となりました。

主催者挨拶の後、来賓として出席した東北地方整備局 小谷野副局長は、「酒田港がポート・オブ・ザ・イヤー2016 に選ばれたことは喜ばしい。全国 990 余りの港から 1 港が選ばれたということで意義は大きく、港の元気を高めたことを評価された。酒田港は伸びしろがあり、まだまだ元気が高まると期待している。」と祝辞を送りました。

その後、県の酒田港プレゼンテーションに引き続き、当事務所の上原所長と山形河川国道事務所の廣瀬所長が情報提供を行いました。次に、サミット酒田パワー(株)高瀬代表取締役、花楯産業株細川専務取締役、境港管理組合細羽事務局長の3氏が事例発表を行い、細羽氏からは、「クルーズは短期決戦。短い間にお客さんをつかむ仕組みを考える必要がある。中国本土の客を狙うよりも、周遊クルーズの誘致を狙った方が良い。」との意見がありました。参加した酒田港利用企業や関係機関などの出席者約160人は、熱心に耳を傾けていました。



主催者挨拶 山形県 細谷副知事



主催者挨拶 酒田市 矢口副市長



来賓挨拶 東北地方整備局 小谷野副局長



酒田港プレゼンテーション
山形県 上野空港港湾課長



情報提供 酒田港湾事務所 上原所長
「酒田港における取り組みについて」



情報提供 山形河川国道事務所 廣瀬所長
「新庄酒田道路等の整備が秘める可能性」



事例発表
サミット酒田パワー(株) 高瀬代表取締役
「酒田バイオマス発電所の概要と
酒田港利用について」



事例発表
花楯産業(株) 細川専務取締役
「わが社の物流戦略と
酒田港の活用について」



事例発表
境港管理組合 細羽事務局長
「外航クルーズ船寄港時の
周辺観光地の役割について」

